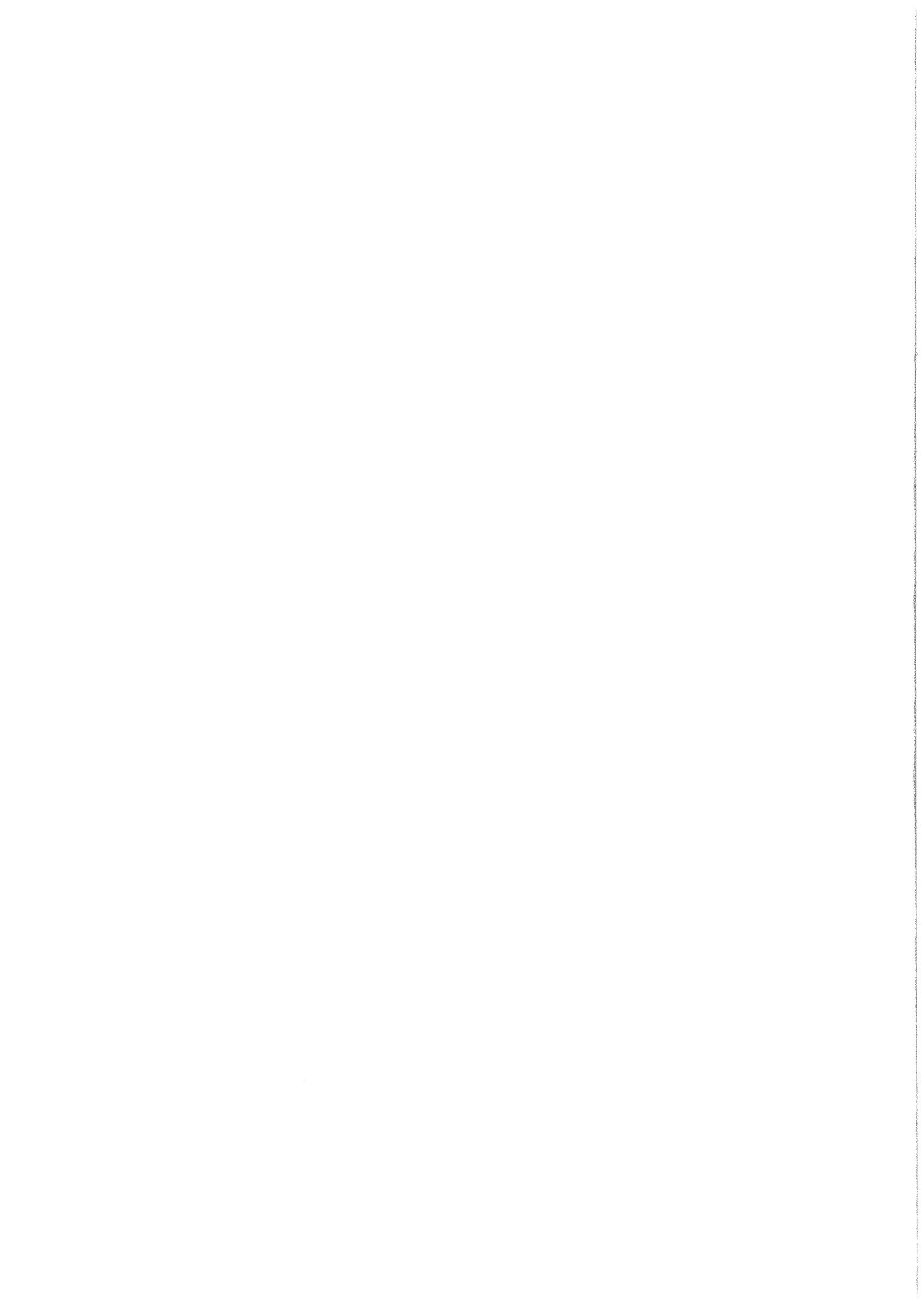


2006／年報

平成18年度

No.14

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



は じ め に

開館以来14年目の今年度、指定管理者制度の導入、職員の大幅異動により新たな雰囲気でご館経営にあたらせていただきました。まずは館経営の基本的な事柄について準備および研修からスタートしなければならず、開館当初のような慌ただしさでありました。幸いにも職員の熱意で好発進できました。

ほとんどの事業を継続させていただきましたが、事業実施にあたっては一つ一つ吟味工夫を重ねながら実施してまいりました。また、例年になかった事業「うきたむ学講座」を加えるなど充実を図ってまいりました。

お陰様で、博物館・資料館の入館者減少という全国的な波も乗り切り、入館者が増加しました。館運営の予算に恵まれ、特別展や企画展を大規模に実施できた時代に迫る勢いでありました。事業投資予算からみれば当時を上回る成果であります。これひとえに関係者の皆様の多大なるご協力の賜物であります。心より謝意を表すものであります。

今年度大きく工夫したものの一つに、展示に惹きつけるためのレプリカ等の活用による補助資料の充実があります。予算の厳しい中、多くの方々にご奉仕を賜りました。本館をとりまく人的ネットワークの成果であると思います。

また、企画展では県内外の研究者から大幅なご協力を賜り、これまでにない数多くの貴重な資料を展示すると共に、図録の大幅刷新を図ることができました。お陰様で、その充実ぶりに多くの皆様の共感を得ることができました。

さらに新規事業の「うきたむ学講座」では、置賜各地の研究者・団体役員の皆様によるうきたむ学講座実行委員会に共催していただき、それぞれの団体から後援を賜りました。大変大勢の受講者で賑わいました。

その他、多くの事業で数多くの皆様のご協力を賜りました。館経営にとって諸条件厳しき折、本館をとりまく関係者の皆様の多大なるご協力が、本館の活性化に結びついた一年であったと評価できます。

もちろん、館経営にあたっては時流をとらえ、知恵と工夫をこらし、職員一丸となって努力しなければなりません。と同時に、本館に期待し本館を利用される皆様方との協働も大切にしながら運営しなければならないと実感される一年であったと思われまます。

結びに、本館の運営に多大なるご協力を賜りました山形県および各市町村教育委員会、(財)山形県埋蔵文化財センター、山形考古学会、うきたむ考古の会、東北学院大学はじめ東北南部の各大学、うきたむ学実行委員会、歴史公園管理組合等多くの皆様に深く感謝申し上げますと共に、今後共宜しくお願い申し上げます、はじめの言葉とします。

平成19年3月吉日

館 長 佐 藤 鎮 雄

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第14回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 公開講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) うきたむ縄文まつり	
(5) 第8期「考古学セミナー」	
(6) 発掘調査検討会	
(7) 第I期うきたむ学講座	
(8) 学校教育との連携	
(9) 学芸員実習	
(10) 共催事業	
(11) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	12
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 博物館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	13
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管理及び運営	15
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	16
9. 利用案内	23

1. 施 設 概 要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿 革

昭和51年度 第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示

昭和56年度 風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告

昭和60年度 第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け

昭和61年度 風土記の丘基本構想・計画を作成

平成2年度 考古資料館の基本・実施設計を作成

平成3年度 高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工

平成4年度 考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定

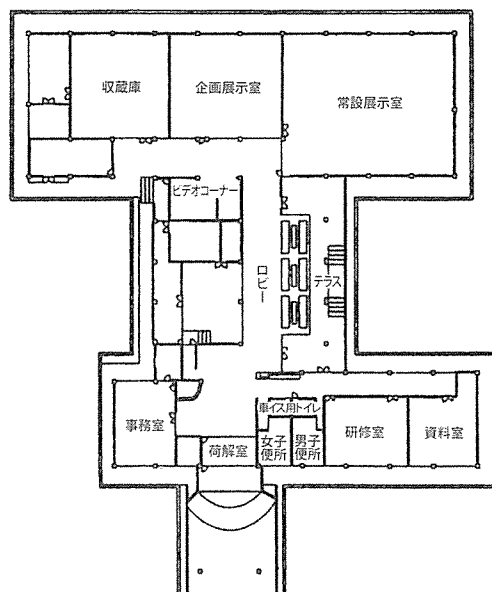
平成5年度 考古資料館開館 4月23日

(3) 施 設

①構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建 敷地面積：7,000 m² 延床面積：1,358.24 m² .

常設展示室	279.00m ²	事務室	67.50m ²
企画展示室	129.37m ²	作業室・荷解室	51.75m ²
収蔵庫(2層)	129.37m ²	ロビー・ホール	336.85m ²
研修室	125.70m ²	その他(機械室等)	238.70m ²



〔山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図〕

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」福島大学 工藤 雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」秋田埋文センター 富樫 泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏他 10回
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
講演会「中尊寺金色堂の視線」東北大学 入間田 宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」青森県教育委員会 岡田 康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」山形埋文センター 佐々木 洋治氏他 10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」国立歴史民俗博物館教授 吉岡 康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」山形埋文センター 佐藤 庄一氏他 10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」

- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
 テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
 講演会「古代出羽の都」酒田市中央高校 佐藤 禎宏氏
 講演会「縄文文化の魅力」國學院大学 小林 達雄氏
 第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
 「大型住居跡を掘る」米沢市教育委員会 手塚 孝氏他5回
- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学入門講座「中世の考古学」
 「奥羽の中世世界」山形大学 伊藤 清郎氏他5回
 講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」東北大学 須藤 隆氏
- 平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
 「古墳時代の集落」山形県立博物館 阿部 明彦氏他5回
 講演会「日本の中の山形の古墳」明治大学 大塚 初重氏
 置賜地区遺跡発掘調査報告会
- 平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
 「飛鳥時代の東北」福島県教育委員会 木本 元治氏他5回
 講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
 明治大学 石川 日出志氏
 2000年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「城館跡の考古学」
 「城館跡を歩き楽しむ」中世城郭研究会 横山勝栄氏他5回
 講演会「奥羽における城館跡」山形大学 伊藤 清郎氏
 2001年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
 「縄文土器の出現と展開」山形県教育庁 渋谷 孝雄氏他5回
 講演会「やまがたの縄文土器」國學院大学 小林 達雄氏、東京都教育委員会
 安孫子昭二氏
 2002年置賜の発掘〈調査検討会〉

- 平成15年度 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」
 「平泉と出羽」山形県立米沢女子短期大学 吉田歆氏他5回
 講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」山形大学 三上 喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 2003年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成16年度 第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「信仰の歴史と考古」
 「中世出羽の宗教と民衆」山形大学 伊藤 清郎氏他5回
 講演会「東日本の経塚と地域性」国立歴史民俗博物館 村木 二郎氏
 「やまがたの経塚」当館館長 川崎 利夫
 2004年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成17年度 第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
 「古墳時代前期とはどんな時代か」山形県教育庁 尾形與典氏他5回
 講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」東北学院大学 辻 秀人氏
 2005年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」（企画展期間を除く）
 考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
 「ナイフ形石器を使う人々」（財）山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏他5回
 講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変ー旧石器から縄文へー」
 東北学院大学 佐川正敏氏
 2006年置賜の発掘〈調査検討会〉
 第I期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回（5講座3発表）

これまでの教育普及活動

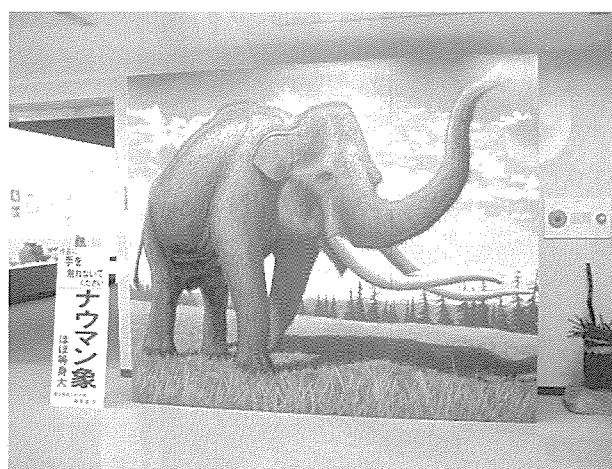
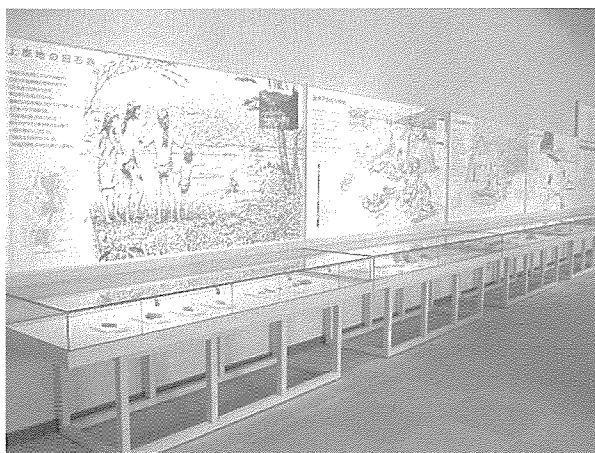
- 体験教室 土器作り、珧状耳飾り作り、縄文住居作り、土面・土笛作り
 編み物作り、土偶作り、釣り針作り、弓矢・投げ槍体験、石器作り
 縄文料理、勾玉作り、火おこし、柿渋染め、ガラス玉作り
- イベント 縄文まつり（体験教室と縄文料理）
- 史跡見学 毎年、春・秋に県内、夏に県外を視察

3. 展 示 の 概 要

(1) 常設展示及びテーマ展示

入館者が初めに目にするロビーに設けた常設展示「置賜のあけぼの」では、今から4～5万年前の飯豊町上屋地遺跡からはじまり、1万2千年ほど前までの旧石器時代を紹介している。当時の自然環境や石器の作り方など、人々の生活の様子を4枚のイラストを用いて、それぞれ解説している。また、今日に至るまでの歴史の流れが一目でわかるように年表が掲げてあり、読みのわかりにくい漢字には、新たにルビを加えるなどの改変を行った。常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成である。置賜を中心に地域の原始・古代の歴史を紹介しながら、日向洞窟をはじめ縄文時代の幕開けをつげる高島町の国指定史跡の4つの洞窟遺跡をとりあげている。さらに縄文時代の低湿地遺跡で、縄文クッキーをはじめ、数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を遺物やジオラマで紹介する。そのほか豪壮な縄文中期から後期・晩期の繊細な土器の変遷が土偶や石器とともに展示されている。弥生時代の展示では、石包丁や粃の圧痕の付いた土器片を展示し、古墳時代の展示では、写真パネルにより置賜地域に広く分布する古墳の様子を解説している。

企画展示室では企画展期間外において、テーマ展「古代・中世の考古資料」として展示を行っている。古墳時代以後の歴史時代の考古遺物が並ぶ。6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物や、奈良・平安時代の文字資料・硯が多い。



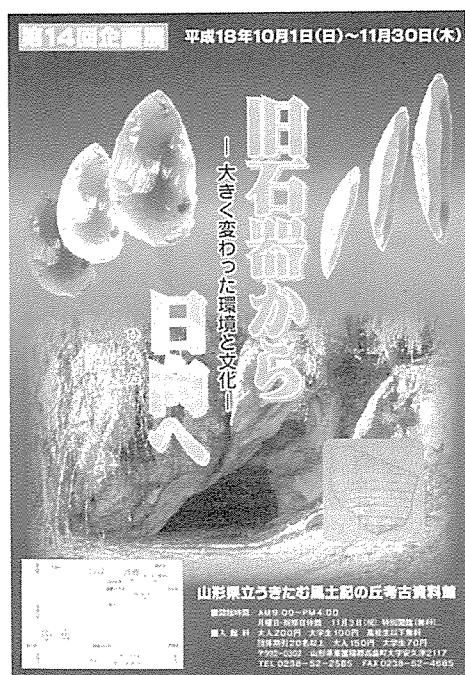
(2) 第14回企画展

- ・テーマ 「旧石器から日向へー大きく変わった環境と文化ー」
- ・開催期間 2006年10月1日～11月30日

1万年余り前の地球温暖化の中を技術革新によって新たな生活をきり開いていった先祖の文化を扱った。

3万年前に始まる旧石器時代の寒冷な気候の下の狩猟生活（遊動）から、1.5万年前に始まる縄文時代草創期の温暖な気候に向かう大温暖化の下の狩猟生活（定住）への変化、そこに見られる石器文化の技術革新を、補助資料を多用しての展示である。

展示は5部構成で、「氷河期のやまがた」においては、常設のロビーの展示、上谷地の旧石器、岩井沢の石刃技法、ナイフ形石器や細石刃文化をプロローグとして企画展に組み込んだ。「Ⅰ やまがたの最古の文化を求めて」では、探求のあゆみ、赤土と洞窟遺跡の環境を取りあげ、「Ⅱ 寒冷期のやまがた」では、石器の製作・使用方法を、復元資料を加え解説し展示の充実を図った。「Ⅲ 大温暖化の始まりー日向洞窟のころー」では日向洞窟出土資料と日向西地区出土資料を豊富に展示した。「エピローグ 大谷地をかこむ遺跡群」では常設展示の一部を企画展に組み込み、それまでの常設展示、企画展示と区分した見学者の動線を、企画展示から常設展示へ移行するという新たな動線による展示方法を取った。



4. 教育普及活動

(1) 第14回考古学セミナー公開講演会

8月20日(日) 受講者54名

基調講演

「旧石器から日向へ

- 大きく変わった環境と文化 -」

東北学院大学教授 佐川正敏氏

1万年余り前の地球温暖化を石器文化等の技術革新によりのりきった人びとの様子を日向洞窟遺跡の資料を中心に写真を用いて分かりやすく解説いただいた。



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢をつくろう

5月13日(土)・11月3日(祝) 延べ101名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。

② ガラス玉をつくろう

6月17日(土) 8組参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った



③ 縄文土器をつくろう - 野焼きのための焼物教室 -

形づくり 8月6日(日) 15名参加

野焼き 10月29日(日) 14名参加

④ 拓本をとろう

土器編 9月2日(土) 参加なし

石仏編 9月16日(土) 1名参加

長谷観音境内の石碑等を使い拓本の技法を学んだ。



⑤ 編布(あんぎん)をつくろう

1月20日(土) 5名参加

⑥ 赤ちゃん手形づくり

5月1日より5月5日まで 参加者464名(子供)

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、6年目の開催となった。過去最高の参加者があり、資料館の事業として定着した。

(3) 遺跡研修

①春の遺跡めぐり

6月4日(日) 参加者 32名

南陽市方面。熊野大社・宝物館・宮沢城址・長谷観音・正元元年大日板碑・嘉暦二年大日板日・結城豊太郎記念館・文和三年阿弥陀板日を見学。個人では探しにくい板碑を中心に南陽市の文化財を巡った。結城豊太郎記念館では一つ一つ解説いただき、偉人を輩出した南陽市の文化を改めて確認した。



②秋の遺跡めぐり

10月22日(日) 参加者 38名

新庄市・鮭川村方面。西ノ前遺跡・庭月観音・鮭川村中央公民館内小反遺跡復元複式炉・新庄ふるさと歴史センター・新庄藩戸沢家墓所・旧矢作家住宅・乱馬堂遺跡・鳥越八幡神社を長澤正機氏に解説いただき見学。新庄ふるさと歴史センターでは最上地域の歴史、民俗、風土などの文化を学んだ。庭月観音や鳥越八幡神社では寺社建築を拝見し、歴史の古さを学び、乱馬堂遺跡や西ノ前遺跡ではその立地や位置関係などを再確認した。

(4) うきたむ縄文まつり

9月10日(日) 参加者 510名 (内実行委員 50名)

縄文時代の暮らし・遊び・祭りを体験しながら、縄文人のおおらかな生き方を感じることをテーマに「まほろば古の里歴史公園」を会場に開催した。今年度は魚つかみ大会を初開催。

- 縄文体験 (勾玉作り・弓矢作り・魚つかみ)
- 縄文食づくり (縄文クッキー・古代米もちつき・縄文鍋)
- 手作り弓矢的当て大会
- 宝探し
- 館長による縄文ミニ講演会 1. 円の文化「縄文文化」 2. イヌと縄文人
- 縄文太鼓コンサート (長井市縄文太鼓のみなさん)



(5) 第8期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「旧石器・中石器時代の考古学」をテーマとして開催、学習した。
また、公開講演会をセミナーの中に組み込んだ。受講者延べ187名

- 第1回 7月16日 「旧石器から中石器時代の概観」 当館館長 佐藤鎮雄
- 第2回 7月23日 「ナイフ形石器を使う人々」 山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏
「細石刃を使う人々」 山形県埋蔵文化財センター 石井浩幸氏
- 第3回 7月30日 「新庄盆地の旧石器時代遺跡」 日本考古学協会会員 長澤正機氏
「酒田市八森遺跡」 山形考古学会副会長 佐藤禎宏氏
- 第4回 8月20日 公開講演会
「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変 - 旧石器から縄文へ -」
東北学院大学 教授 佐川正敏氏
- 第5回 8月27日 「高島の洞窟遺跡群の文化」 高島町文化財専門員 井田秀和氏

(6) 発掘調査検討会

2006年置賜の発掘 調査検討会

2月18日(日) 59名参加

基調報告「2006年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁文化財保護室 阿部明彦氏ほか、
置賜地方の「下叶水遺跡」・「檜原遺跡(2次)」・「加藤屋敷遺跡」・「高安窯跡」・「花沢A遺跡」
の報告・検討を行った。下叶水遺跡の遺物展示や各遺跡の写真パネルをあわせて展示した。

(7) うきたむ学講座

今年度初開講。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている個人や団体が一堂に集い、置賜
地域に根ざした歴史文化を検討し理解を深めた。

- 第1回 1月21日(日) 60名参加
「うきたむ学事はじめ」 当館館長 佐藤鎮雄
「高野山観音院過去帳に置賜の戦国時代を読む」
うきたむ考古の会事務局長 小林貴宏氏
団体紹介「高島町文化財保護会」 高島町文化財保護会長 半田 清氏
- 第2回 2月10日(土) 60名参加
「置賜古代史」 米沢短期大学助教授 吉田 歆氏
団体紹介「いいで歴史考古の会」 いいで歴史考古の会長 井上俊雄氏
- 第3回 3月4日(日) 55名参加
「長者屋敷の世界」 日本考古学協会会員 岩崎義信氏
「米沢の峠を歩く」 日本考古学協会会員 菊地政信氏
団体紹介「ふるさとの歴史と文化に親しむ会」
ふるさとの歴史と文化に親しむ会事務局長 古山重雄氏

(8) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合に、来館の目的・展示説明や体験学習の有無、利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、改善点の指摘などを得た。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習(勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起し・縄文服試着等)を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。社会科学習での利用のほか、PTA親子行事での利用など、全体的に利用校が増加したが、広報と学習内容を改善し、さらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。



(9) 学芸員実習

8月2日(水)～8月8日(火)

東北芸術工科大学、金沢学院大学、東北学院大学より計3名を受入れた。実習内容は、資料館の概要・展示についての講義の他、体験学習(土器づくり)の準備や講師、旧石器時代の展示替えを実技として行った。また、館外実習として(財)山形県埋蔵文化財センターが置賜地方にて行なった発掘調査現場の見学・発掘体験、高島町内の史跡・資料館見学を行なった。



日誌などの感想からは、実物資料に触れながらの研修は良い経験になったと思われる。

(10) 共催事業

東日本の旧石器文化を語る会シンポジウム「東北日本の石刃石器群」

11月25・26日(土・日)105名参加

県内外より研究者が集い、企画展示・特別展示資料の見学をしてもらった。

(11) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会役員会・役員研修会 4月9日(日)

宮城県村田町歴史みらい館で役員会開催後、歴史みらい館および村田町周辺の古墳(千塚山古墳・愛宕山古墳)を見学。

◎考古の会総会 4月23日(日)

当館研修室にて開催。前年度事業・会計報告と、今年度事業・会計予算案、役員選出等を決議。

◎会誌「うきたむ考古」10号の発行

2004年度企画展記念講演会「東日本の経塚の地域性」国立歴史民俗博物館 村木二郎氏、「やまがたの経塚」当館前館長 川崎利夫の講演抄他、会員による論文などを、掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅11～男鹿半島をめぐる旅～

7月1・2日（土・日） 27名参加

秋田県立博物館と男鹿半島の歴史文化を訪ねる。男鹿半島では男鹿市教育委員会、泉明氏より、真山神社・門前五社堂を解説いただき、工藤直子氏より脇本城跡を詳しく解説いただいた。

◎うきたむ縄文まつりの協力

役員をはじめとした数名の会員によって、縄文まつりの縄文体験コーナーの講師として協力。

◎会員研修

山形市菅沢地区 5月14日（日）菅沢古墳群等を見学

宮城県多賀城市 8月5日（土）19名参加 熊野もうでにレッツゴー
東北歴史博物館「熊野信仰と東北」

企画展・列島展 10月28日（土）18名参加

県立うきたむ風土記の丘考古資料館・米沢市上杉博物館見学

福島県会津地方 12月3・4日（土・日）16名参加

福島県立博物館・会津美里町考古資料収蔵室・青津古墳群ほか見学。

北九州の旅 3月8日（木）～10日（土）16名参加

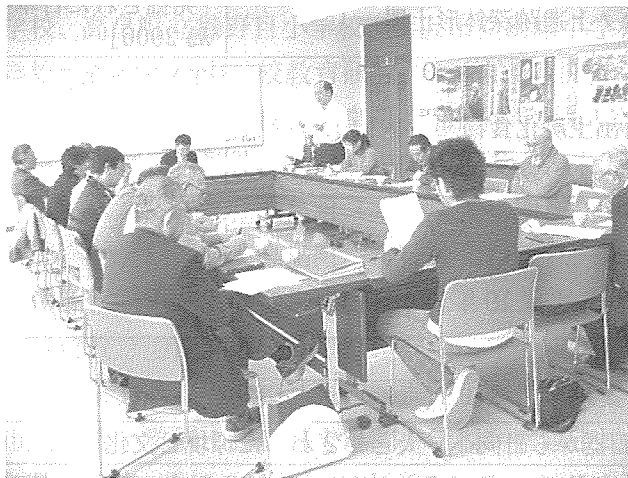
佐賀県吉野ヶ里遺跡・北九州国立博物館などを見学。

庄内鶴岡雛めぐり3月25日（日）25名参加

致道博物館ほかを見学。

◎うきたむ学生フォーラム 3月4日（日）40名参加

南東北ブロックの大学・短期大学で考古学・古代史を学ぶ学生の研究発表会・交流会を主催した。福島大学・山形大学・東北芸術工科大学・米沢女子短期大学の参加があり、好評を得た。今後も続けて開催していきたい。



5. 資料の活用

(1) 資料貸出

今年度、該当する貸出無し。

(2) 写真利用

利用資料	利用目的(印刷物等の名称)	利用者(発行)	発行日など	部数
狐山古墳群・ 衛森塚古墳群等調査写真	研究のため・山形市刊行物	山形市教育委員会	18年8月1日	10,000
押出遺跡炭化食物	社会歴史図鑑 「おもしろ歴史たんてい団」 第3巻「食」 岡田大介著	株式会社ベネッセ コーポレーション		
日向洞窟遺跡隆起線文土器	日向洞窟遺跡西地区出土石 器群の研究Ⅰ	佐川正敏・鈴木雅	18年11月22日	
押出遺跡彩漆土器	年賀状(寄清堂印刷)	株式会社三奥屋	19年1月1日	2,500

(3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
18年5月1日 ～6月30日	耳切石棺図面資料	研究のため	山形市教育委員会
18年5月17日	日向洞窟・西地区出土品他旧石器資料	研究のため	東京大学大学院 長井謙治
18年8月13日	火箱岩・日向洞窟遺跡出土獣骨資料	研究のため	京都大学 納屋内高史
18年8月13日	火箱岩・日向洞窟遺跡出土獣骨資料	研究のため	立命館大学大学院 村上昇
18年8月16日	押出遺跡出土遺物	研究のため	安孫子昭二
18年9月9日	日向洞窟遺跡出土土器	研究のため	國學院大學 岩崎厚志
18年9月15日	押出遺跡出土炭化食物	研究のため	国学院大学大学院 中村耕作
18年10月5日 ～11月15日	米沢市台ノ上遺跡深鉢形土器	「発掘された日本列 島2006」	米沢市上杉博物館
19年1月18日	押出遺跡出土炭化食物	TVバラエティー 「土曜のてっぺん」 縄文時代のハンバー グ特集	株式会社 プライド・トゥ

(4) 刊行物一覧

平成18年4月1日から平成19年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

刊行物名	発行日
館報うきたむ27号	平成18年5月15日
第14回企画展図録「旧石器から日向へ - 大きく変わった環境と文化 - 」	平成18年10月1日
館報うきたむ28号	平成19年2月1日
2006年報	平成19年3月31日

6. 入 館 状 況

(1) 平成18年度 月別入館者一覧表

月分	有料入館者数(人)					無料入館者数(人)						計
	個人		団体		計	減免者数			視察その他		計	
	一般	児童等	一般	児童等		一般	児童等	高校以下	一般	児童等		
4月	88	6	0	0	94	17	0	57	81	0	155	249
5月	147	6	20	0	173	829	952	127	208	97	2,213	2,386
6月	137	9	57	0	203	90	126	58	145	0	419	622
7月	105	4	0	0	109	74	125	45	222	7	473	582
8月	206	23	0	0	229	225	98	90	121	1	535	764
9月	146	17	40	0	203	26	258	15	374	65	738	941
10月	319	24	33	0	376	266	419	70	167	13	935	1,311
11月	177	7	22	0	206	230	81	28	177	2	518	724
12月	10	0	0	0	10	19	0	2	177	0	198	208
1月	17	2	0	0	19	132	5	6	133	0	276	295
2月	19	1	0	0	20	239	3	0	138	0	380	400
3月	35	2	0	0	37	105	19	9	138	0	271	308
計	1,406	101	172	0	1,679	2,252	2,086	507	2,081	185	7,111	8,790

(2) 主な入館団体

ケアセンターとこしえ、高島町立二井宿小学校、米沢市立第一中学校、米沢市立関根小学校、米沢市立上郷小学校、置賜教育事務所、米沢市立愛宕小学校、鶴岡市立朝陽第一小学校、米沢市立南部小学校、高島町立糠野目小学校、米沢市立南原小学校、米沢市立窪田小学校、川西町立小松小学校、上山市小中学校教育研究会、(株)朝日旅行、川西町立犬川小学校、山形県立盲学校、小国町立沖庭小学校、高島町立和田小学校、南陽市立荻小学校、川西町立吉島小学校、高島町立第三中学校、高島町小学校校長会、米沢市東部ひかり保育園、米沢西部学童保育クラブみどりの家、高島町スポーツ少年団、高島町立屋代小学校、東置賜地区小学校教育研究会社会科部会、高島町中学校社会科部会、東北芸術工科大学、東北古代土器研究会、やまびこ園、米沢市学童保育しゃぼん玉クラブ、川西町立玉庭中学校、米沢山形県立商業高等学校、仙台市人來田小・中学校旗立分教室、川西町中部小学校、米沢市立松川小学校、米沢市立興讓小学校、東置賜郡民生委員児童委員会協議会、山辺町立鳥海小学校、南陽市立沖郷小学校、高島町立亀岡小学校、南陽市民大学講座、上山市立東小学校、南陽市立赤湯小学校、まほろばの里案内ボランティアガイド、川西町立東沢小学校、天童市立成生小学校、東北旧石器を語る会、興道西部保育園

(3) 入館者アンケート

- ・石器や土器片にふれられるのはとても良いアイデアです。(宮城県・50代男性)
- ・いろいろ勉強になりました。(置賜地方・女子学生)
- ・ビデオテープによる解説があればよいと思います。(置賜地方・70代男性)
- ・資料がたくさんあってわかりやすい。(村山地方・男子学生)
- ・触れる資料の中に無いものがあるのが残念。(福島県・30代女性)
- ・こんなにすばらしい環境に様変わりしていただろうと思いました。(村山地方・50代女性)
- ・縄文文化など全国的な位置づけ。(富山県・50代男性)
- ・娘の夏休みの自由研究が出土。満足している。(埼玉県・男性)
- ・ガラスケースに入っていない資料が良かった。(村山地方・男子学生)
- ・図書コーナーとかがあっていいと思いました。(東京都・女子小学生)

体験学習等の参加者から

赤ちゃん手形作り

- ・可愛い手形ができた様で、みじかい時間でしたが楽しかったです。(置賜地方・女性)
- ・今回で2回目です。成長が目で見れてうれしいです。(村山地方・女性)
- ・もうすぐ3歳になるのですが、また手形ができて良かったです。(0歳の時も参加しました。)(茨城県・女性)

土器作り

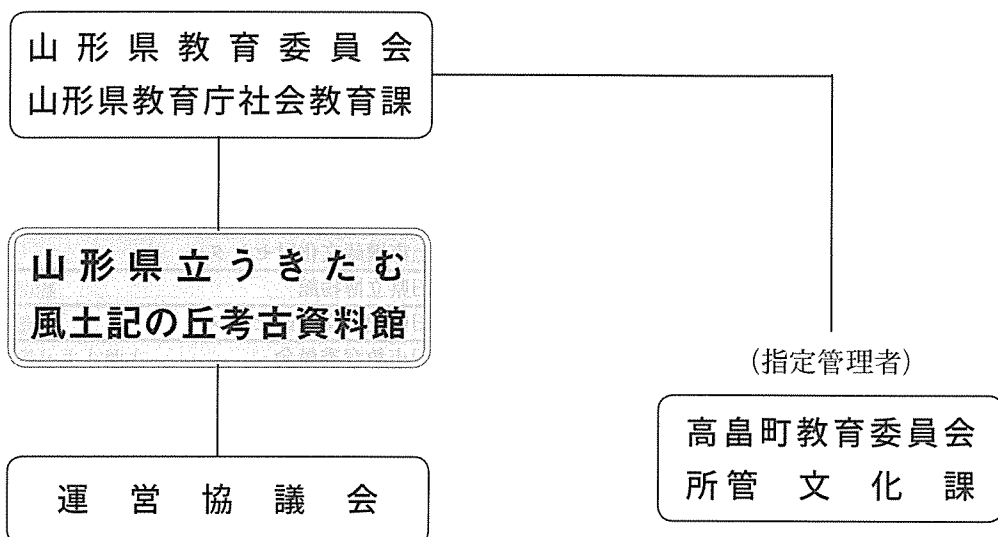
- ・初めてで思った以上にむずかしかったです。(埼玉県・女子小学生)
- ・初めての作業でむずかしかったです。子供達のねばりは以外でした。でも楽しかったです。(村山地方・女性)

学校関係者から

- ・縄文時代、弥生時代は社会の時間で学習済みでしたが、その時学んだことを想起して、初めて見る遺物や古墳にとっても興味を持って見学することができました。(村山地方・小学6年生担任)
- ・身近な所に史跡があることにほこりをもったようです。歴史への興味がおきてきました。(置賜地方・小学6年生担任)
- ・弓矢は持ち帰ってからも、友達同士で楽しく遊んでいたようです。火起こしも熱心に行っていました。とても楽しい時間を過ごせたようです。「また来たい」と言っていた子が多かったです。(置賜地方・小学6年生担任)
- ・ほとんどの生徒が2回目の訪問でしたが、中学生らしい態度で学習や体験に取り組んでいました。ものづくりは丁寧に教えていただいて、生徒も教員も楽しみながら体験を広げることができました。自由時間に火起こしや、縄文服を試す生徒もおり、利用させていただき有意義な時間となりました。(置賜地方・中学1年生担任)

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
村野隆男	米沢市教育委員会文化課長
柏倉俊夫	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
前田みゆき	南陽市立宮内中学校校長
村田武	高島地区公民館館長 高島町文化財保護委員
吉野智雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員
高梨善三郎	うきたむ考古の会副会長

委員長 吉野智雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 10月27日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成17年度考古資料館事業報告
- ②平成18年度考古資料館事業状況報告
- ③その他

第2回 開催期日 3月7日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成18年度考古資料館事業報告
- ②平成19年度考古資料館事業計画

(3) その他

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 職員名簿

職名	氏名	備考	職名	氏名	備考
館長	佐藤鎮雄	非常勤	学芸員	森谷幸	嘱託
館長代理	井田秀和		臨時職員	小関利恵	臨時職員
考古資料主査	佐藤清浩		臨時職員	井上郁恵	7~12月
主任	五十嵐研一	4~6月			

8. 受 贈 図 書

年 報

名 称	発 行 者
館報 第3号	苫小牧市博物館
浦幌町立博物館年報 第6号	浦幌町立博物館
特別史跡 三内丸山遺跡年報9	青森県教育委員会
青森県立郷土館調査研究年報 第30号	青森県立郷土館
青森県立郷土館年報 第33号	青森県立郷土館
平泉文化研究年報 第6号	岩手県教育委員会
平成17年度岩手県立博物館年報	岩手県立博物館
盛岡市遺跡の学び館 平成16年度館報	盛岡市遺跡の学び館
北上市埋蔵文化財年報 2003年度版	北上市埋蔵文化財センター
秋田県立博物館年報 平成18年	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター年報24	秋田県埋蔵文化財センター
秋田城跡(秋田城跡調査事務所年報2005)	秋田市教育委員会
東北歴史博物館 平成17年度年報	東北歴史博物館
仙台市博物館年報 第33号	仙台市博物館
地底の森ミュージアム年報 第10号	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
多賀城市埋蔵文化財調査センター年報 平成17年度	多賀城市埋蔵文化財調査センター
福島県文化財センター白河館 年報2005	福島県教育委員会
年報 平成16、17年度	山形県埋蔵文化財センター
山形県立博物館報	山形県立博物館
山形市埋蔵文化財調査年報 平成16年度	山形市教育委員会
齋藤茂吉記念館年報 通巻第21号	財) 齋藤茂吉記念館
米沢市文化財年報 No.18	米沢市教育委員会
年報 VOL.18	米沢市上杉博物館
東京都埋蔵文化財センター年報25、26	東京都埋蔵文化財センター
国立歴史民俗博物館 2005年度	国立歴史民俗博物館
千葉県立房総のむら年報20	千葉県立房総のむら
市立市川考古博物館館報 第33号	市立市川考古博物館
松戸市立博物館年報 第13号	松戸市立博物館
財) 横浜市ふるさと歴史財団年報 平成17年度版	財) 横浜市ふるさと歴史財団
館報 第1号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第14号	栃木県教育委員会
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第20号	栃木県教育委員会
埋蔵文化財センター年報 第15、16号	財)とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
土浦市立博物館年報 第18号	土浦市立博物館
玉里村立資料館報 Vol.11	玉里村立資料館
新潟県立歴史博物館年報 第5、6号	新潟県立歴史博物館
文化財課年報10	十日町市教育委員会 文化財課
長野県立歴史館年報 第8号	長野県立歴史館
富山県〔立山博物館〕年報 第15号	富山県〔立山博物館〕
岐阜県博物館館報 第29号	岐阜県博物館
館報 平成17年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
大阪府立近つ飛鳥博物館館報10	大阪府立近つ飛鳥博物館
名古屋市見晴台考古資料館年報23	名古屋市見晴台考古資料館
紀伊風土記の丘年報 第32号	和歌山県立紀伊風土記の丘
年報 平成17年度	滋賀県立安土城考古博物館
年報 第25号	広島県立歴史民俗資料館
下関市立考古博物館年報11	下関市立考古博物館
愛媛県歴史文化博物館 平成17年度	愛媛県歴史文化博物館
高知県立歴史民俗資料館年報 平成17年度	高知県立歴史民俗資料館

九州歴史資料館年報 平成17年度	九州歴史資料館
甘木市文化財年報 平成15、16年度	甘木市教育委員会
佐賀県文化財年報11	佐賀県教育庁文化課
大分県立歴史博物館年報2005	大分県立歴史博物館
宮崎県総合博物館 平成17年度	宮崎県総合博物館
宮崎県立西都原考古博物館年報 平成17年度	宮崎県立西都原考古博物館
同志社大学歴史資料館館報 第9号	同志社大学歴史資料館
明治大学博物館 年報 2004年度	明治大学博物館事務室
九州産業大学美術館年度報告書 平成16、17年度	九州産業大学美術館
租税史料館報 平成17年度版	税務大学校 租税史料館

図 録

名 称	発 行 者
笹森儀助展	青森県立郷土館
玉山の遺跡	盛岡市遺跡の学び館
菅江真澄と北上地方	北上市立博物館
昔の計量器「枘と秤」	北上市立博物館
氷河期を生きる	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
熊野信仰と東北	「熊野信仰と東北展」実行委員会
仙台市縄文の森広場 ガイドブック	財) 仙台市市民文化事業団
クロガネの鋳物	財) 福島県文化振興事業団 福島県文化財センター白河館
新種発見物語	山形県立博物館
桜と塚	山形県長井市教育委員会
浜田浜雄	米沢市上杉博物館
上杉景勝	米沢市上杉博物館
最上川と文化 第十八回国民文化祭	大石田町実行委員会
JAPAN	東京国立博物館
あすか時代の古墳	府中市郷土の森博物館
「諸岡五十戸」木簡と横浜	横浜市歴史博物館
弥生の人びとの眠る場所	横浜市歴史博物館
よこはまの浦島太郎	横浜市歴史博物館
幕末動乱を生きた武士	横浜市歴史博物館
浮世絵・絵図でめぐる かながわの名所	横浜市歴史博物館
おなががすいたはらべこだ!	横浜市歴史博物館
日本の神々と祭り	国立歴史民俗博物館
佐倉連隊にみる戦争の時代	国立歴史民俗博物館
歴史のなかの鉄砲伝来	国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館要覧	国立歴史民俗博物館
瓦コレクション	国立歴史民俗博物館
祈りの風景 一病魔退散一	千葉県立房総のむら
最新出土品展	埼玉県立さきたま史跡の博物館
常総の大山信仰	土浦市立博物館
縄文の闇、弥生の光 展示解説書	小美玉市玉里史料館
観音塚古墳の世界	高崎市観音塚考古資料館
栃木の発掘20年のあゆみ	栃木県教育委員会・栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
与一を生んだ那須とその時代	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
あずまのやまのみち	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
新潟の産業いま★むかし	新潟県立歴史博物館
中世人の生活と信仰	新潟県立歴史博物館
津南郷から見える戦争	津南町教育委員会
津南段丘と遺跡	津南町教育委員会
幕末の信州	長野県立歴史館
戦争下の子どもたち	長野県立歴史館

山梨県立博物館 常設展示案内	山梨県立博物館
山梨県立博物館 ガイドブック	山梨県立博物館
よみがえる武田信玄の世界	山梨県立博物館
甲府盆地からみたヤマト	山梨県立考古博物館
立山と真宗	富山県〔立山博物館〕
王権と儀礼	大阪府立近つ飛鳥博物館
年代のものさし	大阪府立近つ飛鳥博物館
古代の工房	大阪府立近つ飛鳥博物館
河内湖周辺に定着した渡来人	大阪府立近つ飛鳥博物館
応神大王の時代	大阪府立近つ飛鳥博物館
吾、天下を佐治す	滋賀県立安土城考古博物館
丸木舟の時代	滋賀県立安土城考古博物館
信長の城・秀吉の城	滋賀県立安土城考古博物館
甲賀郡の風土と遺宝	滋賀県立安土城考古博物館
執轡如組一ひ（手綱）をとることそのごとし	財）元興寺文化財研究所
前方後円墳から方墳・八角形墳へ	財）桜井市文化財協会
桜井の井戸	財）桜井市文化財協会
忘れ去られた古墳	財）桜井市文化財協会
蘇る古の輝き	下関市立考古博物館
描かれた土佐の浦々	高知県立歴史民俗資料館
土佐の歴史玉手箱	高知県立歴史民俗資料館
ときめくファッション	愛媛県歴史文化博物館
殿様のコレクション	大分県立歴史博物館
阿蘇の灰石展	熊本県立装飾古墳館
日韓交流展 稲の来た道	宮崎県立西都原考古博物館
貝の来た道	宮崎県立西都原考古博物館
山形大学附属博物館概要	山形大学附属博物館
下野谷遺跡展	早稲田大学會津八一記念博物館
日向洞窟遺跡西地区出土石器群の研究 I	東北学院大学文学部歴史学科佐川ゼミナール
歴史にすわる	九州産業大学美術館

紀 要

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館紀要 第6号	浦幌町立博物館
岩手県立博物館研究報告 第23号	岩手県立博物館
衣川流域における古代末期遺跡調査報告書 岩手県立博物館調査研究報告書 第21冊	財）岩手県文化振興事業団
一関市博物館研究報告 第9号	一関市博物館
秋田県立博物館研究報告 第31号	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第20号	秋田県埋蔵文化財センター
東北歴史博物館研究紀要7	東北歴史博物館
仙台市富沢遺跡保存館研究報告9	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
市民文化財研究員活動報告書10	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
福島県文化財センター白河館 研究紀要2005	福島県教育委員会・福島県文化財センター白河館
山形県立博物館研究報告 第1、3号	山形県立博物館
山形県立博物館研究報告 第25号	山形県立博物館
研究紀要 第4号	山形県埋蔵文化財センター
山形市文化振興事業団紀要 第11号	財）山形市文化振興事業団
MUSEUM No.598~603	東京国立博物館
東京国立博物館紀要 第41号	東京国立博物館
研究論集 X Û II	東京都埋蔵文化財センター
横浜市歴史博物館紀要 VOL. 9	横浜市歴史博物館
横浜市歴史博物館 調査研究報告 第1、2号	横浜市歴史博物館
町と村調査研究 第8号	千葉県立房総のむら

貝塚博物館紀要 第33号	千葉県立加曾利貝塚博物館
松戸市立博物館紀要 第13号	松戸市立博物館
調査研究報告 第19号	埼玉県立さきたま資料館
研究紀要 第13、14号	財)とちぎ生涯学習文化財団 埋蔵文化財センター
研究紀要24	群馬県埋蔵文化財調査事業団
新潟県立歴史博物館研究紀要 第7、8号	新潟県立歴史博物館
長野県立歴史館 研究紀要 第12号	長野県立歴史館
富山県〔立山博物館〕研究紀要 第13号	富山県立山博物館
岐阜県博物館調査研究報告 第27号	岐阜県博物館
名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第8号	名古屋市見晴台考古資料館
元興寺文化財研究 No.87、88	財)元興寺文化財研究
紀要 第14号	滋賀県立安土城考古博物館
研究紀要 第10号	下関市立考古博物館
研究紀要 第11号	愛媛県歴史文化博物館
大分県立歴史博物館 研究紀要7	大分県立歴史博物館
宮崎県立西都原考古博物館研究紀要 第2号	宮崎県立西都原博物館
宮崎県総合博物館研究紀要 第27輯	宮崎県総合博物館
研究紀要 第6集	熊本県立装飾古墳館
東北芸術工科大学紀要 No.13	東北芸術工科大学
文化財保存修復研究センター研究成果報告書 平成17年度	東北芸術工科大学 文化財保存修復研究センター
明治大学博物館研究報告 第11号	明治大学博物館事務室
大手前大学史学研究所紀要 第5号	大手前大学史学研究所
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第7号	早稲田大学會津八一記念博物館
國學院大學博物館學紀要 第30輯	國學院大學博物館學研究室
國際縄文学協会紀要 第2号	國際縄文学協会

報告書

名 称	発 行 者
青森県遺跡詳細分布調査報告書18 他4	
青森県埋蔵文化財調査報告書 第419～423集	青森県教育委員会
五月女遺跡 五所川原市埋蔵文化財調査報告書第27集	青森県五所川原市教育委員会
三内内部(3)遺跡発掘調査報告書 他7 青森市埋蔵文化財調査報告書 第82～89集	青森市教育委員会
岩手県内遺跡発掘調査報告書(平成16年度) 他2 岩手県文化財調査報告書 第120～122集	岩手県教育委員会
町内遺跡詳細分布調査報告書 大迫町埋蔵文化財報告書 第23集	岩手県大迫町教育委員会
立石遺跡発掘調査報告書 他1 大迫町埋蔵文化財報告書 第24、25集	岩手県花巻市教育委員会
御所野遺跡Ⅲ 他3 一戸町文化財調査報告書 第53～56集	一戸町教育委員会
志波城跡 平成15・16年度発掘調査概報	盛岡市教育委員会・盛岡市遺跡学びの館
盛岡市内遺跡群	盛岡市遺跡学びの館
南部工業団地内遺跡Ⅱ 他4 北上市埋蔵文化財調査報告 第18、61、69～71集	北上市教育委員会
田ノ沢山遺跡 谷地中遺跡 他10 秋田県文化財調査報告書 第404～414集	秋田県教育委員会
平成17年度 秋田市遺跡確認調査報告書	秋田市教育委員会
向野遺跡	㈱エス・ティ・ティ・ドットコム東北・秋田市教育委員会
中野高柳遺跡Ⅳ 他4 宮城県文化財調査報告書 第204～208集	宮城県教育委員会
赤井遺跡2005 東松島市文化財調査報告書 第1集	宮城県東松島市教育委員会
赤井遺跡2004 矢本町文化財調査報告書 第17集	宮城県桃生郡矢本町教育委員会
菅谷道安寺横穴群 他5 利府町文化財調査報告書 第2～4、6、11、12集	利府町教育委員会

金屋遺跡 郡山遺跡Ⅱ 他1 会津若松市文化財調査報告書 第107、109号	福島県会津若松市教育委員会
玉山古墳 他5 いわき市埋蔵文化財調査報告 第112～114、116～117冊	いわき市教育委員会
押出遺跡発掘調査報告書 山形県埋蔵文化財調査報告書 第150号	山形県教育委員会
堂の前遺跡 他19 第55、137～144、146～156集	山形県埋蔵文化財センター調査報告書 財) 山形県埋蔵文化財センター
山形県高畠町 第一、二、三次大立洞穴遺跡発掘調査概報	大立洞穴 山形県立博物館
双葉町遺跡・城南町遺跡(山形城三の丸跡)発掘調査報告書 他2 山形県山形市埋蔵文化財調査報告書第25～27集	山形市・山形市教育委員会
台ノ上遺跡発掘調査報告書他2 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第88～90集	米沢市教育委員会
小山崎遺跡 遊佐町埋蔵文化財調査報告書第5集	遊佐町教育委員会
市内遺跡分布調査報告書(9) 山形県鶴岡市埋蔵文化財調査報告書 第26集	鶴岡市教育委員会
寒河江市内遺跡発掘調査報告書(13) 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書 第28集	寒河江市教育委員会
天童市西沼田遺跡 天童市埋蔵文化財調査報告書第3集	天童市教育委員会
左沢桶山城跡調査報告書(8) 大江町埋蔵文化財調査報告書 第9集	大江町教育委員会
市内遺跡発掘調査報告書(14) 山形県長井市埋蔵文化財調査報告書 第26集	長井市教育委員会
廻り屋遺跡発掘調査報告書 山形県白鷹町埋蔵文化財調査報告書 第5集	白鷹町教育委員会
杉並区No.182遺跡 他30	東京都埋蔵文化財センター
八王子市No.120遺跡第2次調査	(株)協進建設・(株)武蔵文化財研究所
八王子市No.135遺跡	蛇の目ミシン工業(株)・(株)武蔵文化財研究所
折戸遺跡 他10 山武都市文化財センター発掘調査報告書 第79、80、83～91集	山武都市文化財センター
塚畑・宮内・稲荷前・三島木・城ノ内遺跡 他1	
財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第360、393集	財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団
栃木県埋蔵文化財保護行政年報27 他13 栃木県埋蔵文化財調査報告 第285～290、292～299集	栃木県教育委員会
史跡 高遠城跡二ノ丸・南曲輪	高遠町教育委員会
平成17年度 十日町市内遺跡試掘・確認調査報告書 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第30集	十日町市教育委員会
久保寺南遺跡 他3 中里村文化財調査報告書 第9、11～13輯	中里村教育委員会
町内遺跡試掘確認調査報告書(5) 津南町文化財調査報告書 第48輯	津南町教育委員会
穴太飼込古墳群 他12	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
御倉遺跡発掘調査報告書 草津市文化財調査報告書60	滋賀県草津市教育委員会
青谷上寺地遺跡8 他1 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告9、10	鳥取県埋蔵文化財センター
宮野地区遺跡群 朝倉町文化財調査報告書 第11集	朝倉町教育委員会
平塚川添遺跡Ⅱ 他5 甘木市文化財調査報告書 第64～69集	甘木市教育委員会
上楠田地区遺跡 他2 高田町文化財調査報告書 第8～10集	高田町教育委員会
大江前遺跡 佐賀県文化財調査報告書167集	佐賀県教育委員会
西都原古墳群	宮崎県教育委員会
坂元A・坂元B遺跡 他1 都城市文化財調査報告書 第71、72集	宮崎県都城市教育委員会

諏訪廻第1遺跡 他2 三股町文化財調査報告書 第2、7、8集	宮崎県三股町教育委員会
上条古墳群1 福島大学考古学研究報告第1集	福島大学行政政策学類考古学研究室
高安窯跡群 東北芸術工科大学考古学研究報告 第5冊	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
兵庫津遺跡 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告第1号	大手前大学史学研究所
岩倉忠在地遺跡 同志社歴史資料館調査研究報告第6集	同志社大学歴史資料館
いにしえの大寺	滝の山遺跡調査研究会
忠生遺跡群	忠生遺跡調査会

資料目録

名 称	発 行 者
大石田町立歴史民俗資料館史料集	大石田教育委員会
横浜市歴史博物館資料目録	財)横浜市ふるさと歴史財団
諸家文書目録	愛媛県歴史文化博物館
堀見家文書目録I	高知県立歴史民俗資料館
寺石正路関係資料目録I	高知県立歴史民俗資料館
租税資料目録 昭和編(Ⅲ)	税務大学校・租税史料館
出土品展示目録 埴輪V	宮内庁書陵部

調査資料

名 称	発 行 者
北向遺跡	山形県埋蔵文化財センター
上敷免遺跡	山形県埋蔵文化財センター
興屋川原遺跡	山形県埋蔵文化財センター
行司免遺跡	山形県埋蔵文化財センター
木の下館跡	山形県埋蔵文化財センター
中落合遺跡	山形県埋蔵文化財センター
中山城跡	山形県埋蔵文化財センター
蛇崩窯跡	山形県埋蔵文化財センター
玉作2遺跡	山形県埋蔵文化財センター
上野遺跡	山形県埋蔵文化財センター
万治ヶ沢遺跡	山形県埋蔵文化財センター
百刈田遺跡	山形県埋蔵文化財センター
玉作1遺跡	山形県埋蔵文化財センター
大在家遺跡	山形県埋蔵文化財センター
庚壇遺跡	山形県埋蔵文化財センター
上ノ山館跡	山形県埋蔵文化財センター
発掘やまがた最前線 平成18年度 山形県埋蔵文化財発掘調査報告会資料	山形県埋蔵文化財センター

学 術

名 称	発 行 者
南陽市の板碑 蓬莱波形山叢書第四集	村山民俗学会・加藤和徳
東置賜郡高畠町の板碑 蓬莱波形山叢書第五集	村山民俗学会・加藤和徳
季刊 東北学 第七～十号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
真澄学 第三号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
庄内考古学 第22号	庄内考古学研究会
米沢史学 第22号	米沢史学会
東北日本の石刃石器群	東北日本の旧石器文化を語る会

単行本

名 称	発 行 者
水が映し出す山形	山形県生涯学習文化財団
歴史と文学のあいだ 歴史研究の最前線 v o l . 5	総研大 日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館
日本人の心性を探る 歴史研究の最前線 v o l . 6	総研大 日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館
儀礼を読みとく 歴史研究の最前線 v o l . 7	総研大 日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館
山寺状	河北町教育委員会

論 文

名 称	発 行 者
聖徳太子 磯長墓内「中段境界石」保存処理及び調査報告書陵部紀要第57号抜刷	陵墓課
立命館大学考古学論集Ⅱ、Ⅲ—1・2、Ⅳ	立命館大学考古学論集刊行会
立命館大学考古学論集	立命館大学考古学論集刊行会
立命館大学考古学論集	立命館大学考古学論集刊行会

その他

名 称	発 行 者
風雪の路	財) 北海道開拓の村
岩手県立博物館教育普及事業における安全管理の手引き	岩手県立博物館
十符の里のさんぽみち	利府町教育委員会
土地分類基本調査	山形県総務部総合政策室政策企画課
酒田・鶴渡川原人形の源流	小野 忍
歴史と考古 創刊号、第三号	いいで歴史考古の会
教育委員会のあゆみ	高島町教育委員会
高島町の植生	高島町
まなぼう 郷土の文化 伝えよう明日へ	高島町青少年育成町民会議
文化財の生物被害防止手法には何が選択されたのか	東京文化財研究所
図説 市川の歴史	市川市教育委員会・市立市川考古・歴史博物館
なす風土記の丘たんけんブック①	栃木県立なす風土記の丘資料館
世界の現場から 今、博物館教育を問う	独立行政法人 国立博物館
平成18年度 会員名簿	財) 日本博物館協会
誰にもやさしい博物館づくり事業 外国人対応 博物館の望ましい姿シリーズ6	財) 日本博物館協会
誰にもやさしい博物館づくり事業 バリアフリーのために 博物館の望ましい姿シリーズ7	財) 日本博物館協会
誰にもやさしい博物館づくり事業 高齢者対応 博物館の望ましい姿シリーズ8	財) 日本博物館協会
玉里村の歴史	玉里村・玉里村立史料館
古きをまもる新しき技	財) 元興寺文化財研究所
香川県埋蔵文化財センター古代体験メニュー集 第1号	香川県埋蔵文化財センター
自然ハンドブック 植物・野鳥・昆虫	甘木市教育委員会
シンポジウム 前方後円墳とその周辺 第11回 東北・関東前方後円墳研究会大会	東北・関東前方後円墳研究会
清源寺仁王像修復の全記録	宗教法人 清源寺 護持会
平成17年度 博物館に関する基礎資料	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
人と文化遺産保存継承ミーティング 第一回「地域の文化遺産を災害から救出する活動を学ぶ」	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
衣食住の歴史	㈱ポプラ社
歴史資料年表	吉野教育図書㈱

9. 利 用 案 内

- ◆ 交通案内 JR 高島駅よりタクシーで 15 分
JR 高島駅より自転車で 40 分
*高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道
があります
- ◆ 開館時間 AM9:00～PM4:30
- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日（こどもの日と文化の日は無料で開館します）
年末年始（12月28日～1月4日）
大型連休中は、臨時開館の場合があります
燻蒸作業のため臨時休館の場合があります
- ◆ 入館料金 一般 200 円（150 円）、学生 100 円（70 円）、小中高生無料
（ ）は 20 名様以上の団体料金
- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免（無料入館）します
 1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学
術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該
当する者とする
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者

*上記の 2 つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提
出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付
添い人
- ◆ 収蔵図書の利用
資料館に収蔵されている図書（県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他）の閲
覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用くださ
い。利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書利用のみのご利用には入館料はかかりま
せん。詳しくは事務室までお問い合わせください。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。(ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます)

- ◆ 展 示 説 明 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。
- ◆ 歴史公園を歩く 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。
- ◆ 遺 跡 案 内 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。
- ◆ 体 験 学 習 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。
その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メ ニ ュ ー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	200円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無 料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2時間	10名	200円
土器・土偶・土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編布(あんぎん)づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方の程度の編み布(コースター)を作ります。	2時間	10名	200円

(目安として)

*当館が日時を指定して行う体験事業(勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう)の場合は、上記の材料費(参加費)とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利 用 団 体				
学 年	年	引率者・代表者		
人 数	大人 名 小人 名			
日時・所要時間	月 日	:	~	:
実 施 内 容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ）			
来館のねらい				
説 明	館内・歴史公園・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか）			
職員の説明の際に 強調を希望する点	無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・学校近辺の遺跡・ 当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡）			
使 いた い 資 料	無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { }			
研 修 室 利 用	希望しない・希望する（学習のため・雨天時の昼食のため）			
利用に当たって 希望すること （体験学習等）	体験：勾玉作り・火おこし等			
交 通 手 段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・ その他（ ）			
当日に利用する 他の施設・史跡等				

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございなしたら、こちらも送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高畠町大字安久津2117
TEL 0238-52-2585 FAX 0238-52-4665

2006／年報

平成19年（2007年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高畠町大字安久津 2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238 (52) 2585
FAX 0238 (52) 4665
アドレス:122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 カトヤ印刷

